

門へ 13
1344
巻 6



金草鞋廿一編序

方言 終行 金の草鞋廿一編序
奥州南部宇曾利山を往古を硫黄のりて不時焼る事ある由多
焼山といふ又土俗に於曾禮山といふ関基密覚大師千駄の石地蔵を造
中尊の長五尺八寸の其他小佛の如く人の足取今僅小存せざる
おろ圓空法師千体の像を修補し高賈竹内與兵衛の所の唐
銅の弥陀大日薬師の三像を安置堂塔を之高大花好中満山乃
光景奇樹怪石地類るに靈場なる嶺上小塞の河原三途川釘の山
其余二百二十六地獄の廿編小嗣之順道なる當山參詣の記行
を志す邊土遠幽の地なるに齟齬せしむる多かるるを大略を
あるものなり

十返舎一九題



九流黄ある山と火煙起温泉涌ゆえおのづから地獄といふがた處
 めり殊よ肥前の温泉が山嶽と當山とを見人驚歎せむといふこと
 就中當山修羅と名づくる取の地面なる石の九長さ二十五六
 大幅五六丈石面血の色に如く劔の山の石悉く大で刀鋒の如く餘
 のろくの地獄なる其色状ふるりと名づくるの傳の空慈覺大師護摩
 執行のとき筵席多く梅葉をとり石上敷其石今方二丈斗薄く
 耕幅二寸長二寸半なる梅葉の如く之文理ゆり又當山は異鳥有
 毎四月上旬より七月中旬まで月清く閑静なる夜鳴聲佛法僧と
 いふがごとく日光おび高野ゆり此鳥のといふはこゝに海内希有の盤
 山といふ也



鶴ヶ岡



三 川 三



二 嶋 藤



酒田 田



新堀 堀





吹雪 浦



雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し
雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し

雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し
雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し



雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し
雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し

雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し
雪の降りしきり
山道の険しき
馬の歩み遅し
旅人の心細し

江戸越行



小破川



木 浦



浦の舟に坐す人ありて其の顔に憂色ありて手て其の面を掩ふ
 是れ何事ぞやと問ふに浦の舟に坐す人ありて其の顔に憂色ありて手て其の面を掩ふ
 浦の舟に坐す人ありて其の顔に憂色ありて手て其の面を掩ふ
 浦の舟に坐す人ありて其の顔に憂色ありて手て其の面を掩ふ
 浦の舟に坐す人ありて其の顔に憂色ありて手て其の面を掩ふ
 浦の舟に坐す人ありて其の顔に憂色ありて手て其の面を掩ふ

象 瀉



象瀉略圖
 于瀉寺千体佛の八道島法性寺島八島島九十九島島八十八島島ありて無数の風景ありしづちしづ山ありて遠くをの見る可き所を失ふ事少き後拾遺世の中かてわ鹿角象海のあつての事やと能因法師

三津の森



平野の澤



本庄



Handwritten text in vertical columns, likely a list of names or descriptions related to the scene above. The text is written in a cursive style.

Additional handwritten text in vertical columns, continuing the list or providing further details. The text is written in a cursive style.



Handwritten text in vertical columns, likely a list of names or descriptions related to the scene above. The text is written in a cursive style.

Additional handwritten text in vertical columns, continuing the list or providing further details. The text is written in a cursive style.

長 濱 三



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or a list of items related to the illustration. The text is dense and difficult to read due to the small size and cursive style.

松 崎 三



Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the illustration, providing context or details for the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns interspersed within the illustration, possibly identifying the figures or the location.



現金貸付の店
高利の利息
借金する者
多しと云ふ
此の町の
風習なり

此の町の
風習なり
借金する者
多しと云ふ
高利の利息
多しと云ふ



豊平の町
新田の町
此の町の
風習なり
借金する者
多しと云ふ

此の町の
風習なり
借金する者
多しと云ふ
高利の利息
多しと云ふ



一九作國信画



和州の野半



花 五 行

花は春の光を浴びて
 紅く咲き乱るるを
 見る人は心も春の
 光に染まりて
 春の心は花の色に
 染まりて
 花の色は人の心に
 染まりて
 人の心は花の色に
 染まりて
 花の色は人の心に
 染まりて
 人の心は花の色に
 染まりて



六 新 街

新街の春は
 花の色に
 染まりて
 人の心は
 花の色に
 染まりて
 花の色は
 人の心に
 染まりて
 人の心は
 花の色に
 染まりて
 花の色は
 人の心に
 染まりて
 人の心は
 花の色に
 染まりて



解籠



生か保不内子



1. 山頂の松林は
 2. 山腹の松林は
 3. 山麓の松林は
 4. 山頂の松林は
 5. 山腹の松林は
 6. 山麓の松林は

山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は

山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は



山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は

山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は

山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は

山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は

山頂の松林は
 山腹の松林は
 山麓の松林は

石の 平



橋を 場



森 岡



沼宮内



相杉



福 岡 下



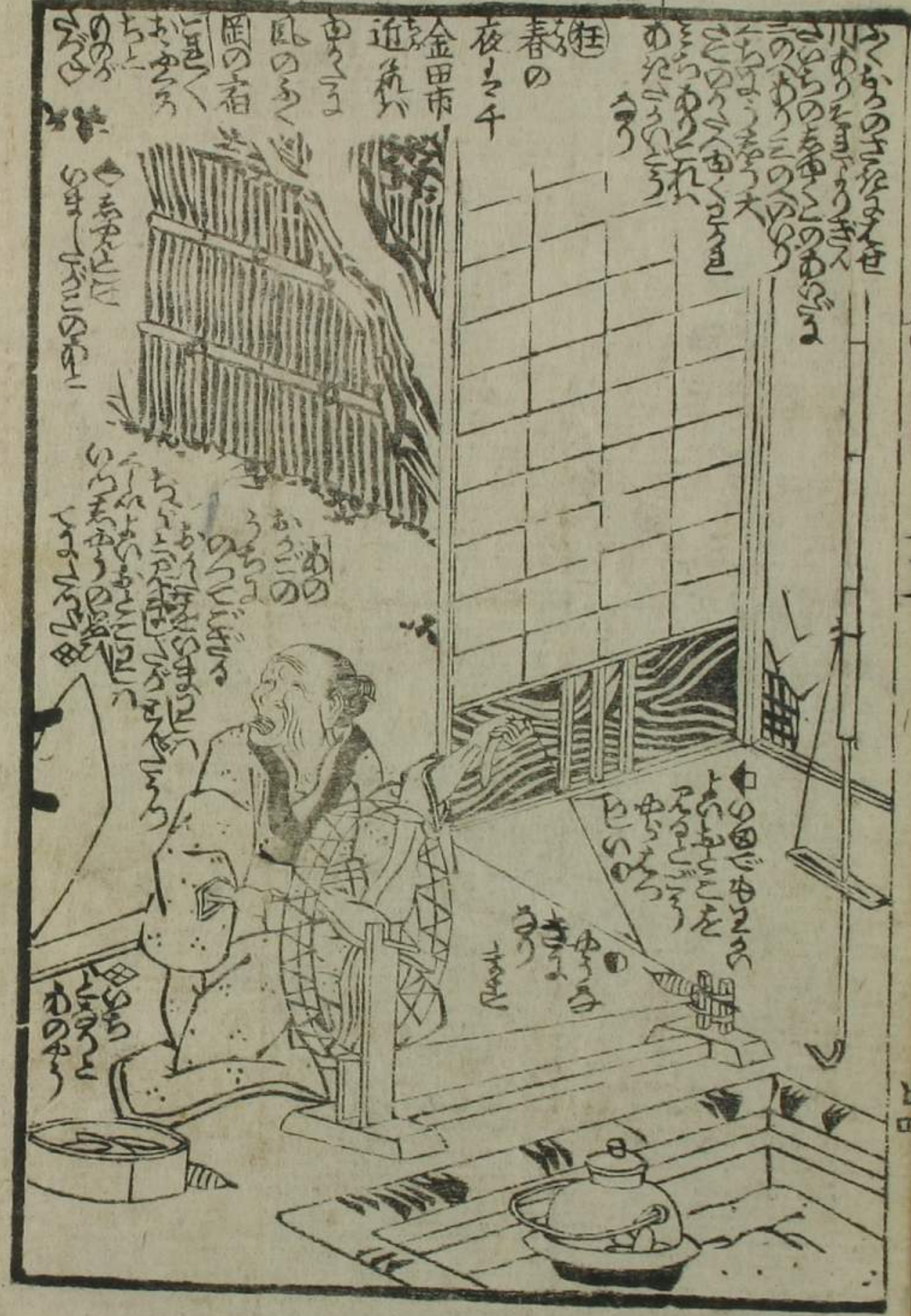
一 之 戸 馬



三光の戸新



金田の市



麻皇 水行



これらもまた...
 五の...
 麻皇...
 水行...

あはれ...
 ちんちん...
 子も...

戸之五



五の...
 戸之五...
 ...

藤島



傳方寺



寺戸への七き



野邊の地



田名部



田名部

田名部



大坂山女福北来大
 三山女
 山女

方言 金草鞋共二編 全六冊近刻

十返舎一九作
 歌川國信画

本間屋
 黒美玄香
 油美玄香
 坂本氏
 板元

無